



小児・AYA世代のがんを経験された方へ



同じ年代でがんを経験した仲間と つながりませんか？

小児期やAYA世代（Adolescent and Young Adult＝思春期世代と若年成人世代）のがんに新たに罹患する方は、栃木県内で年間約300人います。

それぞれの思いや悩みを、同じ年代でがんを経験した仲間と共有しませんか？

小児・AYA世代のがん経験者の声（H31.2.16意見交換会より）

4名が参加され、それぞれの思いをお話いただき、意見交換を行いました。

<妊娠や出産のこと>

- ・治療による妊娠・出産への影響について、きちんと説明してほしかった。罹患年齢や発達段階に応じた将来を見据えた説明やフォローをしてほしい。当時、卵子保存等の温存治療ができたのであれば、受けたかった。
- ・20代前半に診断され、医師から将来の妊娠への影響について説明されたが、命を優先してがん治療を受けることを勧められた。これから結婚や妊娠、出産を考えていく中で、不安がある。がん治療後、問題なく出産された先輩もいるが、不妊治療になるのであれば、がん治療を経験した者に対して、上乘せの財政的な支援をしてほしい。

<治療と仕事の両立こと>

- ・治療と仕事の両立についての理解が十分でなく、職場復帰した時に必要以上に心配され、「本当に大丈夫？」と言われることがつらかった。
- ・20代は生命保険に加入している人が少なく、医療費の負担はとても大きい。

<同じ年代でがんを経験した者とのつながり>

- ・同じ経験をした人と話せる場があることが一番救われた。

交流会に参加しませんか？

小児（0～15歳）やAYA世代（0～30歳代前後）にがんを経験した方が、情報交換や悩み等を共有する機会として、今後も交流会の開催を予定しています。関心をお持ちの方は、下記に御相談ください。



問合せ先

栃木県保健福祉部健康増進課がん・生活習慣病担当
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 栃木県本庁舎5階

TEL 028-623-3096

FAX 028-623-3920

E-mail kenko-zoshin@pref.tochigi.lg.jp